

9月17日

新規グループ

振動で動くおもちゃの制作



タイヤがなくても走る「ぶるぶるカー」を作りました。モーターに、重心がかたよった木片のおもりを付けて回し、振動を起こし斜め後ろに取り付けたプラスチック板に振動を伝えることで、前に進むことができる車です。



最初は車輪がなくて走るのかと思ったけど、下に付けたプラスチックが振動して前に進むのでびっくりした。家でいろいろな物を付けて、ぼくのオリジナルカーにしよう。



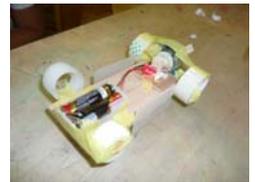
板の角度などバランスが悪いとまっすぐ進まない。また、おもりを三角や丸にして違いを調べてみよう。



薄い板と厚い板ではどっちが速く進むのかな？振動の大きさが問題。両方やって比べてみようね。



速く進むためには厚い板を使う
板の角度を 90° にする。
おもりを遠くにする。



継続グループ カムBOXの改造



うまく回らなくて、つかかたり、穴に入らなくて大変。棒が上下する時にぐらぐらした。糸でくくりつけるにも工夫が必要だ。



カムBOXを回ったり、ジャンプするバレーナにしようと思う。飛ぶようにしたいけど顔がとれてしまって難しい。



まだ途中だけど、ライオンがえさを捕まえて食べるようにするにはどうしたらいいのか考えていこう。



調整が難しい。指導員の先生のアドバイスをもとに、家でもっと改造しよう。

カムをリズムよく回したいけど、ティラノサウルスがちゃんとならない。



豊橋少年少女発明クラブ

発明クラブだより

NO. 7

2011

10・8